

NO！リニア

No. 77
2014年3月27日
JR東海労働組合
リニア反対プロジェクト

リニア環境影響評価準備書 沿線全都府県から批判！

3月25日付『朝日新聞』は、昨年9月にJR東海が公表したリニア中央新幹線の環境影響評価準備書について、沿線全都府県が批判を表明していると報道しました。

この報道によると、水質、土壌汚染、磁界、景観などあらゆる分野で、「説明が不十分」「影響を予測していないのと同然」「不適切」などと指摘しています。言い換えれば、準備書がいい加減なものとして評価されているということです。それもそのはず、JR東海は、リニア建設ありきで計画を進めているのですから、仮に環境等に大きな問題が発生しても「影響は少ない」と書かざるを得ないからです。

一方、JR東海の担当者は「現段階で最も詳しいアセスを行い、環境を保全する措置を盛り込んだ。評価できないと言う方が多いとは思わない」と反論しました。自治体の意見を真摯に聞くという姿勢は全く感じられません。

JR東海労は、リニア建設を直ちに止めるべきだと主張します。

リニアのアセス 批判加速
沿線都県「情報量足りない」CO₂ 増えるはず

2013年の開業を目標とするリニア中央新幹線の環境影響評価について、沿線の各都府県が建設し海西方面から、調査不足などなど批判が殺到している。各都府県は専門家会議の報告を踏まえた環境影響評価書に提出しており、即ち建設が認められない国に予定する着工時期に影響が出てくる可能性もある。

JR東海は11、13年、品々、結果を準備書とし、川名各都府県に提出し、昨年9月に公表し、各都府県から意見を募集した。JR東海は「環境影響評価準備書」を3月25日まで提出し、各都府県から意見を募集した。JR東海は「環境影響評価準備書」を3月25日まで提出し、各都府県から意見を募集した。

「JR東海」現段階で最も詳しい

「朝日新聞」 3月25日